

7 食育・きらり★いのち（性教育）

内容 食育及びきらり★いのち（性に関する学習）の取組及び実践について



【食育】

1 取組に係る本校児童・保護者の実態について

- 朝食欠食率は微増傾向で内容も不十分な様子が見られる。給食の残食も多い。
- 保護者の教育に関する関心は高いが、食に関する関心が高い家庭と低い家庭に差が見られる。

2 目的（取組の意義）について

- 食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。【知識・技能】
- 食生活や食の選択について、正しい知識・情報に基づき、自ら管理したり判断できたりする能力を養う。【思考力・判断力・表現力等】
- 主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料等の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。【学びに向かう力・人間性等】

3 内容について

- 食に関する指導
 - ・関連する教科等において、食に関する視点を位置づけての指導
 - ・準備から後片付けまでの給食指導の中で必要な技能・知識の習得
 - ・「学校の新しい生活様式」に合わせた給食スタイルの実施
- 地場産物の活用
 - ・給食の献立に、七飯町産の食材を積極的に活用した「プレミアムななえデー」を毎月設定し、地場産物に関する理解を深める。
 - ・見学学習や体験学習との連携を図った食体験を通して理解を深める。

4 成果・課題・今後の方向性等

- 【成果】・「プレミアムななえデー」の設定により、七飯町産の食材に対する関心が高まり、地場産物に関する理解が深まった。
 - ・「学校の新しい生活様式」に合わせた時間的にゆとりのある給食スタイルを実施することにより、残食が減少している。
- 【課題】・朝食欠食率や内容に対する効果的な取組の検討が必要。
 - ・「学校の新しい生活様式」に合わせた給食スタイルと、楽しみながら食事することの両立。
- 【今後の方向性】・家庭への「食育」のさらなる発信。
 - ・「学校の新しい生活様式」に合わせたよりよい給食スタイルの検討。

【きらり★いのち（性に関する学習）】

1 取組に係る本校児童の実態について

- スマホやタブレットの所持率の増加に伴い、性に関する情報に触れる機会が増えている。

2 目的（取組の意義）について

- 自他の体や心を大切にし、豊かな人間関係を育むことのできる子ども
 - ・生命の大切さを学び自他の生命尊重する心や態度を身につける
 - ・自分を大切にし、相手も大切にする心や態度を身につける

3 内容について

- 1学年～6学年の発達段階に応じた「きらり★いのち」の学習の実施
「きらり★いのち」の学習：「からだ」「こころ」「いのち」の3つの観点から、自己の成長を見つめ、性に関する正しい知識や相手との関わり方を学ぶ学習。

4 成果・課題・今後の方向性等

- 毎年実施している「きらり★いのち」の学習により、性に関する正しい知識が身につけてきた。
- ▲ 継続的な指導が行えるよう、学習内容の精査や実施時期、他教科との関連付けなどの年間指導計画に位置づけた整理が必要である。